

## 保健体育科（体育）学習指導案

- 1 日 時 令和2年10月29日（木）6時間目
- 2 学年・組 第2学年7. 8. 9組 女子13名
- 3 場 所 テニスコート
- 4 単元名 球技 ネット型 「テニス」
- 5 指導にあたって

### （1）単元観

球技はネット型・ゴール型・ベースボール型と分類され、ネット型であるソフトテニスでは、ラリーやゲームのなかでの相手との駆け引きやパートナーとの協力によって勝敗を競い合うところに楽しさを感じる種目である。また、相手の打球などの状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防が展開される。

### （2）生徒観

13名のうち半数はテニスの経験があり、テニスへの関心・意欲・態度は全体的に高く、授業にも真面目に取り組む生徒が多い。そのため一つ一つのショットやルールに関しても理解している生徒が多い。一方で、運動を苦手とする生徒もいるため技能にばらつきがみられる。

### （3）指導観

ソフトテニスの基本的な打法やルールを習得するとともに、ラリーを長く続けることで得られる達成感やゲームのなかで駆け引きや展開、ペアと協力し勝敗を競い合うことの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。ゲームや練習を通して、グループ内における自己の役割や責任を果たしたり、互いに協力し助け合ったりしながら自他の課題の発見・解決ができるようにする。

## 6 単元の目標

- (1) 積極的な態度で授業に取り組み、①フェアプレー（公正な態度）②自己の役割を果たす（責任感）③チームでの話し合い（協調性）及び健康・安全に気を配ることができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 練習やゲームにおいて自己分析、チーム分析ができるようにし、ゲームの様相～課題に応じた運動の取り組みを工夫できるようにする。 【思考・判断】
- (3) 各ショットを理解しラリーやゲームのなかでボールをコントロールして返すことができ、空いているスペースを狙って攻撃できるようにする。 【技能】
- (4) テニスはネットを挟んでラリーをしたり相手のミスを誘ったりして攻防を展開し楽しむ特性があることを具体的に挙げて理解する。

7 単元および単位時間における具体の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<p>球技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度を取ろうとする。また、テニスコートなど練習環境の安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをする。</p>	<p>チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。</p>	<p>球技の中でもネット型の種目に当たるテニスの特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。</p>	<p>ネット型の種目であるテニスの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し、知識を身に付けている。</p>
<p>(具体例)</p> <p>(1) 練習やゲームでは、チームやペアの中での自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。</p> <p>(2) 個々の技術に合った課題を設定し、課題解決に向けた工夫をしている。</p>	<p>(1) チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。</p> <p>(2) 設定した課題の解決に向け、適切な練習や方法を発見したり選択したりしている。</p>	<p>(1) ソフトテニスにおける各ショットができる。</p> <p>(2) 身に付けた技能を高めたり、技能を新たに身に付けたりし、その技能を使ってゲームを展開できる。</p>	<p>(1) テニスの特性に応じた技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方や練習計画の立て方について具体例を挙げることができる。</p> <p>(2) ルールや審判法の仕方を理解している。</p>

8 単元計画 <指導と評価の計画> (球技・テニス「ネット型」=全6時間)

時間	1	2	3	4	5	6
ねらい	<はじめ> 授業の行い方を理解しよう		<なか> 各ショットを習得しよう		<まとめ> ペアで実践練習	
学習過程	1. 挨拶 健康観察 体操 ランニング					
	2. オリエンテーション ・ねらい ・学習計画 ・学習の進め方		2. 本時のねらいと学習の流れを確認		3. ペア分け	
	3. グループ分け 4. ボール慣れ 5. ラリー練習		3. 各ショットの習得 ・フォアハンド ・バックハンド ・ボレー・スマッシュ ・サーブ 4. ラリー練習 ・ストレート		4. ラリー練習 ・各ショットを交えて 5. ゲーム ・ダブルス ・ペア対抗	
まとめと評価 次時の予告 片づけ 後片付け						
※( )内の数字は、「9 単元および単位時間における具体的評価規準」の表中の数字						
関意態	(1)			(2)		
思・判		(1)	(2)			(2)
技能			(1)		(2)	(2)
知・理				(1)	(2)	

9 本時の学習と指導 (全6回のうち6時間目)

(1) 本時の目標

- ・これまでに練習した基本的なショットをゲームの中で実践できるよう、個々に合った課題を見つけ、練習を工夫する。また、ソフトテニスのゲームにおけるルールとマナーを身に付けるとともに、ペアで協力し、互いに助言・アドバイスをしながら安全に活動する。

(2) 観点別評価規準

- ・身に付けた技能を高めたり、技能を新たに身に付けたりし、その技能を使ってゲームを展開できる。

【運動の技能】

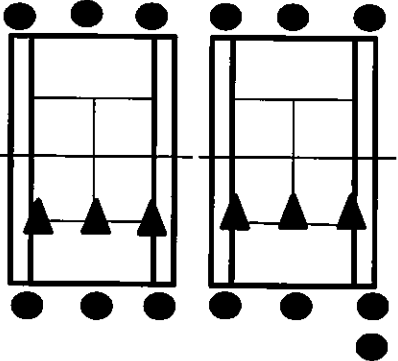
- ・設定した課題の解決に向け、適切な練習や方法を発見したり選択したりしている。

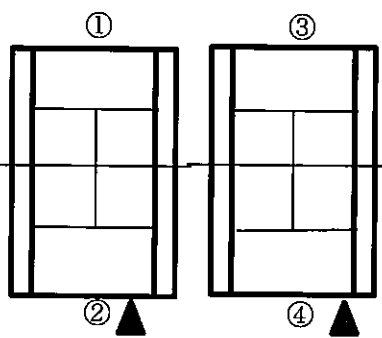
【思考・判断】

(3) 準備物

- ・ラケット ボール デジタイマー 得点板

10 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価
<p>導 入 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挨拶・点呼</li> <li>○ラジオ体操</li> <li>○ランニング</li> <li>○本時の内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○出席状況と体調確認</li> <li>○本時のめあてと内容を理解し見通しをもたせる</li> </ul>	
<p>ダブルスのゲームの流れを理解し、 ペアで協力・工夫しながら練習やゲームに取り組む。</p>			
<p>展 開 15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアに分かれる</li> <li>○ペアでの練習               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローク 3分 (フォアハンド・バックハンド)</li> <li>・ボレー・スマッシュ 3分</li> <li>・サーブ、レシーブ 3分</li> </ul> </li> </ul>  <p>▲カゴ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全のため、十分な距離を保って練習を行う。</li> <li>○安全を考慮し、狙うコースはストレートのみとする。</li> <li>○各ペアでボールを1カゴ用意する。</li> <li>○2人組、もしくは3人組になり、互いにアドバイスしながら練習する。</li> <li>○個人の技能の段階に応じた練習方法をペアで考え実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設定した課題の解決に向け、適切な練習や方法を発見したり選択したりしている。</li> </ul> <p>【思考・判断】</p>

<p>展 開</p> <p>20分</p>	<p>○ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルス</li> <li>・1ゲーム(4ポイント)</li> <li>・サーブは順番に行う</li> <li>・ボールが前衛の頭の上を越えたら前衛は反対サイドへ移動する。</li> </ul> 	<p>○ペアでゲームの流れや動きを教え合いながら実際にゲームを行う。</p> <p>○サーブは全員が行えるよう順番に行う。入らなければ前から打ってもよい。</p> <p>○勝敗に応じてペアで数字の小さいほう(左図)へコートを移動する。</p> <p>○ゲームの中でペア同士の声掛けやアドバイスを積極的に行う。</p> <p>○ゲームをしていない生徒は審判をする。</p>	<p>○身に付けた技能を高めたり、技能を新たに身に付けたりし、その技能を使ってゲームを展開できる。</p> <p><b>【運動の技能】</b></p>
<p>ま と め</p> <p>5分</p>	<p>○片づけ</p> <p>○本時の評価と反省</p> <p>○けがの確認</p> <p>○次回の連絡事項</p>	<p>○協力、分担し素早く片づけを行う。</p> <p>○本時の振り返りを行い、次の授業につなげる。</p>	